

平成31年度 学校教育目標と学校経営構想

京都市立北白川小学校

＜学校教育目標＞ 『学び合い 高め合い 夢に向かって進む 北白川の子』

～目標の実現に向け努力する意欲・態度と問題解決能力を培う～
主体性（自ら学ぶ力）と社会性（自ら律する力）の育成



目指す子ども像

- | | |
|----------|----------------------------|
| き 聴いて | 人の話をしっかりと聞き、自分の思いを豊かに表現する子 |
| た 楽しく | 友達を大切にし、ともに支え高め合う子 |
| し 知ろう | 豊かな感性をもち、友達とともに学び合う子 |
| ら 自ら | めあてをもち、めあてに向かって粘り強く努力する子 |
| か 関わり | 自分のよさや可能性に気付き、自ら挑戦しようとする子 |
| わ 分かり合おう | 互いに尊重し合い、かけがえのない存在として認め合う子 |

勇気

豊かな心

根気

健やかな体

一人一人に届く教育「むかう→わかる→できる→もっと」
教科学習・総合的な学習・道徳（どう解く）の時間・外国語活動・特別活動
学校行事・体験活動・伝統文化体験・運動の実践と体力向上

互いを尊重し合う学校風土「語れば心が響き合う」
人権教育・生徒指導（理解）・総合育成支援教育

家庭・地域での教育

『自ら学ぶ力』と『自ら律する力』を育成することを根底に据えながら、「確かな学力・豊かな心・健やかな体」の育成を目指す。

◆ 主体的・対話的で深い学びを通して学びの質を高める。

- ・子どもが主体的に学ぶ授業
- ・問題解決的な学習
- ・めあてと振り返りのある授業
- ・学ぶ楽しさ、分かる喜びが実感できる授業展開

◆ 家庭での自学自習の習慣をつける。

- ・日々の授業と連動した家庭学習
- ・自らが予習・復習を意識して課題を選択し学習計画を立てる

◆ 自他を大切にする態度を育成する

- ・自尊感情（自己肯定感・自己有用感）の育成
- ・命を大切にする心や他人を思いやる心、感動する心など人間性の育成
- ◆ 「公共の精神」に基づく態度を育成する。
 - ・公共心・公徳心・生命を尊重する心
 - ・社会におけるルールや法の重要性
 - ・課題解決に向かう行動力の育成

◎ 全教職員で、一人一人の子どもが安心して過ごせる学級・学校づくりをする。

◎ 「学校運営協議会」を核に、教育の課題を家庭・地域と共有し、地域ぐるみで子どもを育てる協働の取組を進める。

＜めざす教職員像＞

- ・子どものために汗を流せる教職員
- ・子どもの成長を信じ期待し喜べる教職員
- ・子どものモデルとしての自覚をもって行動する教職員
- ・向上心をもち自己研鑽に励む教職員
- ・互いを尊敬し、互いに学び合うことができる教職員
- ・鋭い観察力と適切な指導のできる教職員
- ・日常的な「報告・連絡・相談」のできる教職員

＜めざす学校像＞

- ・子どもも教職員も「生き生きと学ぶ」学校
- ・笑顔、「ありがとう」「できた」「わかった」「やるからできるようになる」があふれる学校
- ・教職員それぞれのよさが響き合う学校
- ・子どもたちのために保護者・地域・関係機関と連携・協働する学校